

2022年10月24日
BOLDLY株式会社
Auve Tech

BOLDLY とエストニアの Auve Tech が提携して

Auve Tech の新型自動運転車両「MiCa」を日本で展開

～障害物回避や急速充電が可能な車両で、自動運転レベル4のモビリティサービス実現へ～

ソフトバンク株式会社の子会社である BOLDLY 株式会社（ボードリー、代表取締役社長 兼 CEO：佐治 友基、以下「BOLDLY」）と、世界初の水素走行自動運転シャトルを含むレベル4の自動運転シャトルの設計・製造を行うエストニア共和国の Auve Tech（オーブテック、CEO：Johannes Mossov）は、このたび戦略的協業に合意しました。これにより、Auve Tech は、日本国内における自動運転サービスに関する豊富な知見・ノウハウを持つ BOLDLY の協力の下、2022年10月21日に発表した自動運転レベル4対応の新型自動運転車両「MiCa（ミカ）」の、日本仕様車の開発を進めます。BOLDLY は、2022年度中に「MiCa」の日本仕様車を導入し、BOLDLYが開発した運行管理プラットフォーム「Dispatcher（ディスパッチャー）」と接続して、2023年度中に日本の公道で走行させることを目指します。日本で Auve Tech の車両を導入するのは、BOLDLY が初となります*1。両社は、日本での自動運転レベル4のモビリティサービスの実現に向けて、取り組みを推進していきます。

BOLDLY は、自動運転などを活用した持続可能な公共交通の実現に向けて取り組んでいます。業界のトッププランナーとして、これまでに国内外で合計120回以上の実証実験を実施している他、日本において2カ所で自動運転バスの実用化を達成しました。また、「Dispatcher」は、現在25種類以上の自動運転車両との接続が可能になっており、自動運転サービスの普及に貢献しています。

Auve Tech は、乗客や物資を輸送するための自動運転システムの開発・製造に特化して取り組んでいます。自動運転車両の開発からさまざまな環境への統合、遠隔操作の管理まで、幅広いサービスを提供しています。自動運転シャトルはラストワンマイル輸送を強化することを目的としており、閉鎖区域や混雑した交通環境において、安全でスマートかつ持続可能な代替輸送手段として利用できます。Auve Tech は、過去数年にわたり世界12カ国でのさまざまな商業プロジェクトでその技術を実証し、すでにその車両を本物の自律走行型の移動手段として提供できることを証明しています。

■Auve Tech の新型自動運転車両「MiCa」の日本仕様車の特長（予定）

1. 障害物回避機能を搭載
車両に搭載した7台のLiDAR（ライダー）センサー*2および8台のカメラで周辺環境を把握し、障害物を検知して自動で回避します。完全自律型の無人運転が可能です。
2. 急速充電が可能
急速充電モデルでは約1時間で充電が完了するため、1台の車両で運行時間を拡大できます。
3. コンパクトな設計
全長4.2m、全幅1.8m、全高2.5mでコンパクトでありながら、広々とした車内スペースを確保し、最大8人が快適に乗車できます。小回りが利くため、狭い道路での走行にも適しています。
4. さまざまな天候に対応
最新のセンサーとソフトウェアを搭載し、積雪や豪雨などの環境下でも走行可能です*3。
5. 重要な機器やシステムの構成を二重化
ステアリング、ブレーキ、コンピューター、センサーなどの安全に関する全てのシステムを冗長化し、

車両故障のリスクや発生を最小限に抑えます。

※1 Auve Tech 調べ (2022年10月24日時点)

※2 レーザー光を使ったセンサーの一種。レーザー光を照射して物体に当たって跳ね返ってくるまでの時間を計測し、物体までの距離や方向を測定します。対象物までの距離の他、位置や形状まで正確に検知できます。

※3 極端な異常気象や激しい降雪などの場合には走行できない場合があります。

<車両イメージ>



BOLDLY の代表取締役社長 兼 CEO の佐治 友基は、次のように述べています。

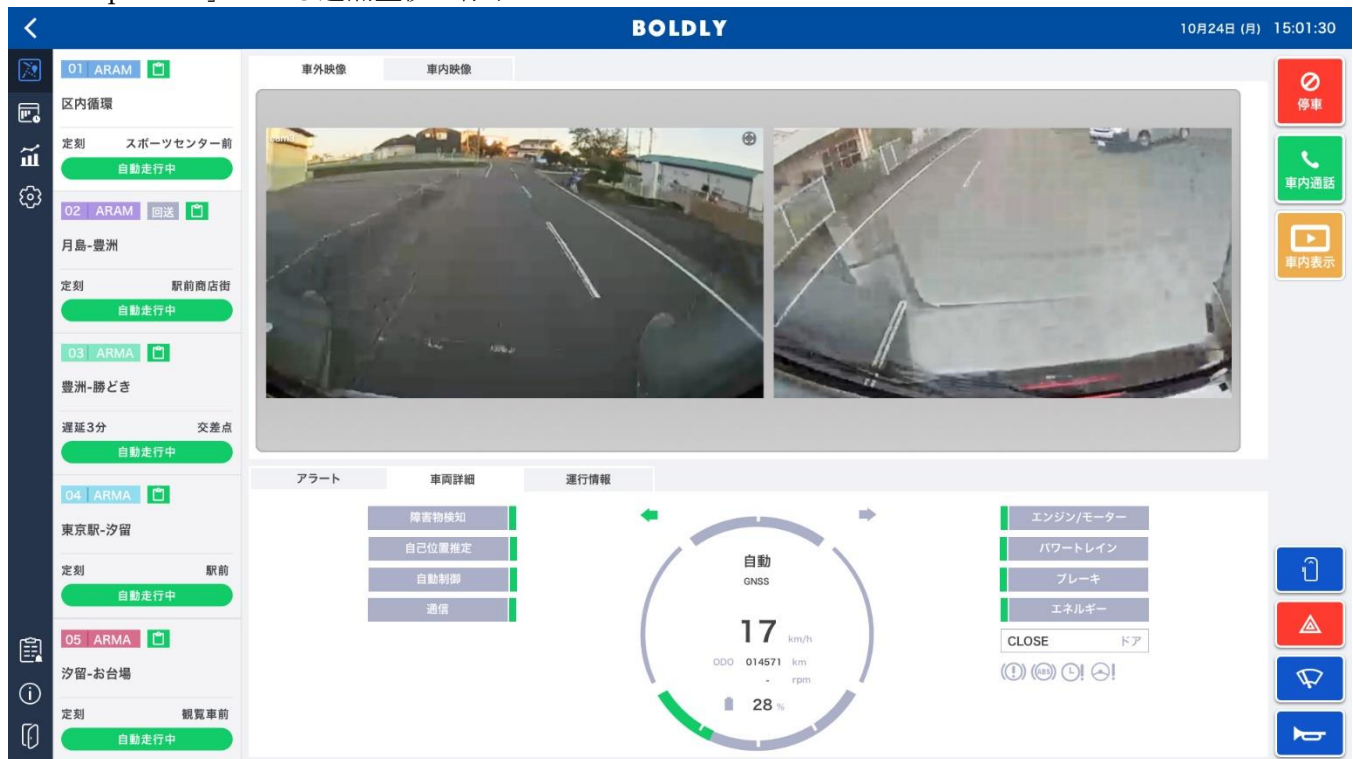
「BOLDLY は、世界の約 30 種類の自動運転モビリティについてリサーチした結果、Auve Tech が開発する

車両のアーキテクチャーに日本の技術が生かされている点や、日本の保安基準を理解して設計されている点などを受けて、Auve Tech とのパートナーシップの締結に至りました。今後、BOLDLY は、日本の交通事業者と連携しながら Auve Tech のモビリティを運用し、政府が目標として掲げる『2025 年度までに 40 地域での自動運転移動サービスの実装』の実現に貢献するとともに、持続可能な公共交通の整備に貢献していきます」

Auve Tech の共同設立者 兼 CEO の Johannes Mossov（ヨハネス・モソヴ）は、次のように述べています。

「私たちが目指すのは、マイカー通勤を超えた都市型通勤です。自律走行型のラストワンマイル車両は、閉鎖区域や混雑した交通環境において、安全でスマート、かつ持続可能な代替交通手段を提供することでラストワンマイル輸送を強化し、交通セクターの効率化に重要な役割を果たすことができます。BOLDLY のような強力なプレイヤーとの戦略的協業は、Auve Tech の新型車両の市場投入を大きく早め、急速に高まる需要に対応するのに役立つでしょう」

< 「Dispatcher」による遠隔監視の様子 >



- このプレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。
- このプレスリリースに記載されている内容、製品・サービスの価格、仕様、問い合わせ先およびその他の情報は、発表日時点のもので、これらの情報は予告なしに変更される場合があります。